2017年3月期決算説明会
事業の状況について

2017年5月19日

株式会社アルファシステムズ

代表取締役社長 黒田 憲一

目次

2017年3月期の総括

- 2017年3月期の状況
- 事業区分別の状況

2018年3月期の概要

- 経営戦略と課題
- 事業環境
- 2018年3月期 見通し

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

2017年3月期の総括

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

2017年3月期の状況

（百万円）	2016.3	2017.3	増減額	増減率
売上高	25,698	**26,806**	**1,108**	**4.3%**
ソフトウェア開発	25,119	**25,666**	**547**	**2.2%**
プロダクト・サービス (“その他”事業)	579	**1,140**	**561**	**96.8%**
営業利益	2,399	**2,560**	**161**	**6.7%**

決算は 増収増益（2期連続）

- 売上高　過去最高を更新
- 営業利益率　9.6%

ソフトウェア開発は 前期比 2.2%増加

- 良好な国内IT市場を背景に 受注が拡大

プロダクト・サービスは 前期比 約2倍を達成

- 文教ソリューションに注力（売上高の約9割）
  - V-Boot バージョン3（2016年3月発売）による競争力向上
  - V-Boot 営業体制強化（プライムベンダーとの協業）
  - V-Boot 開発体制の強化（効率化、品質向上）

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

事業区分の見直し

オープンシステム事業の拡大基調を鑑み
2017年3月期より事業区分の見直しを実施

オープンシステムで選択と集中が進行中の
「公共」「流通・サービス」「金融」を公開

旧事業区分（2017年3月期売上高）
ノードシステム（20.9億円）
モバイルネットワークシステム（33.5億円）
ネットワークマネジメントシステム（47.1億円）
オープンシステム（138.5億円）
組み込みシステム（16.5億円）
プロダクト・サービス（11.4億円）

新事業区分（2017年3月期売上高）	
通信システム	
	ノード
	モバイルネットワーク
	ネットワークマネジメント
オープンシステム	
	公共（54.6億円）
	流通・サービス（44.5億円）
	金融（20.1億円）
	その他（19.2億円）
組み込みシステム	
プロダクト・サービス	

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

事業区分別の状況

（百万円）	2016.3	2017.3	増減額	増減率
通信システム	11,167	**10,155**	**▲1,012**	**▲9.1%**
ノード	2,121	**2,090**	**▲31**	**▲1.4%**
モバイルネットワーク	3,002	**3,351**	**349**	**11.6%**
ネットワークマネジメント	6,043	**4,713**	**▲1,330**	**▲22.0%**
オープンシステム	12,078	**13,857**	**1,779**	**14.7%**
公共	4,999	**5,461**	**462**	**9.2%**
流通・サービス	3,137	**4,452**	**1,315**	**41.9%**
金融	1,693	**2,017**	**324**	**19.1%**
その他	2,248	**1,927**	**▲321**	**▲14.3%**
組み込みシステム	1,873	**1,652**	**▲221**	**▲11.8%**
プロダクト・サービス	579	**1,140**	**561**	**96.8%**
合計	25,698	**26,806**	**1,108**	**4.3%**

通信システムは 減少継続

- 通信システム　10.1億円（9.1%）減少
- ネットワークマネジメント 13.3億円（22.0%）減少

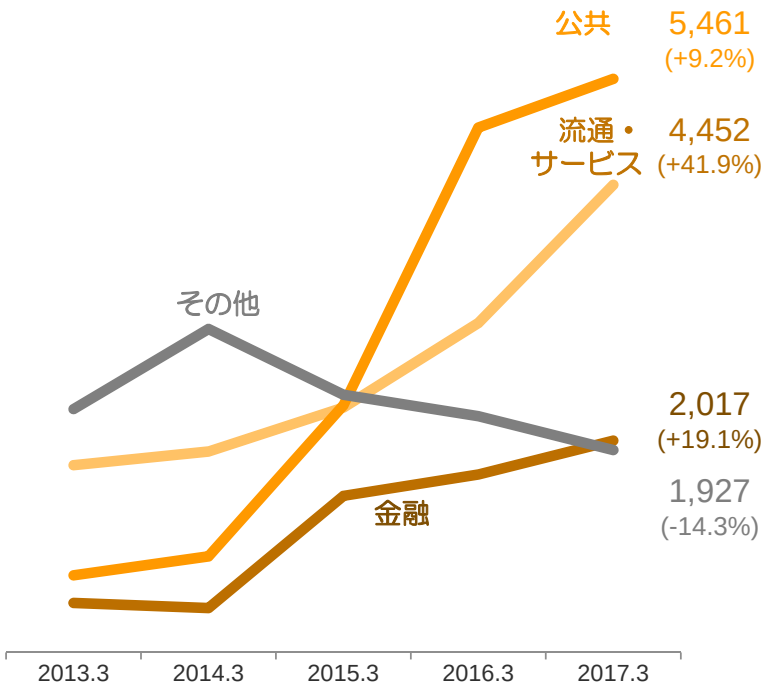
オープンシステムは 増加継続（7期継続）

- オープンシステム　17.7億円（14.7%）増加
- 流通・サービス　13.1億円（41.9%）増加
- 金融　3.2億円（19.1%）増加

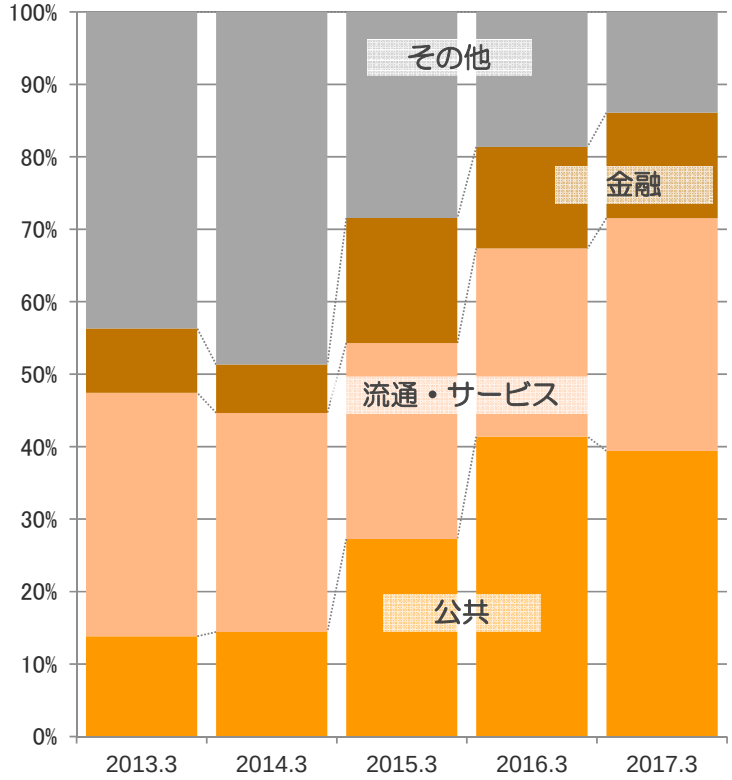
COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

事業区分別の状況（オープンシステムの売上推移）

オープンシステム売上高内訳（百万円）



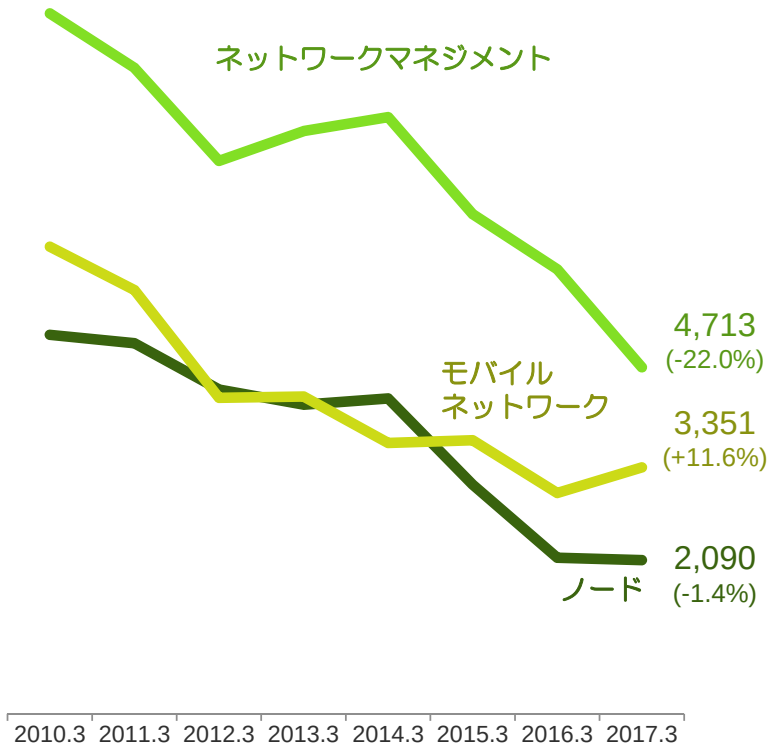
オープンシステム内売上比率の推移



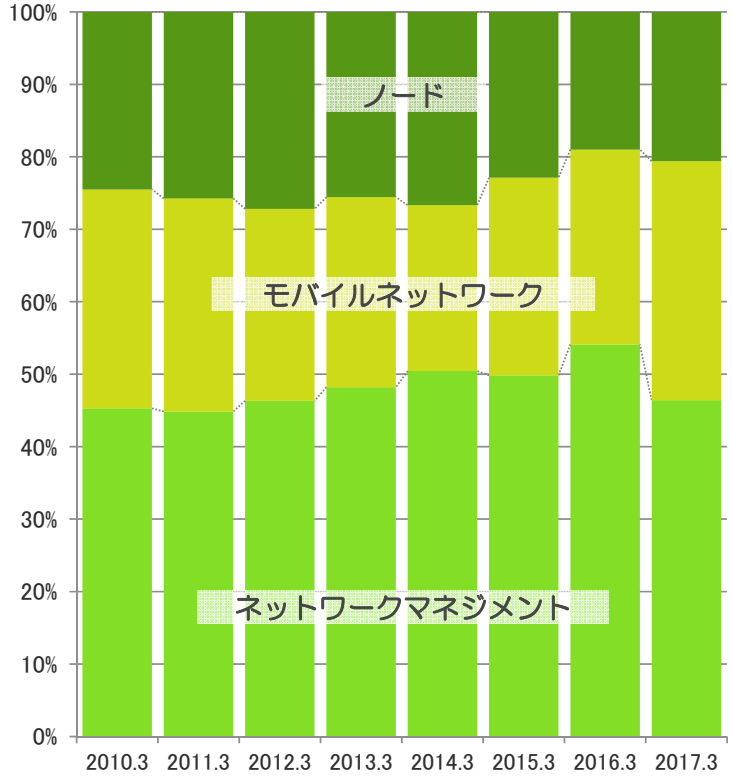
COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

事業区分別の状況（通信システムの売上推移）

通信システム売上高内訳（百万円）



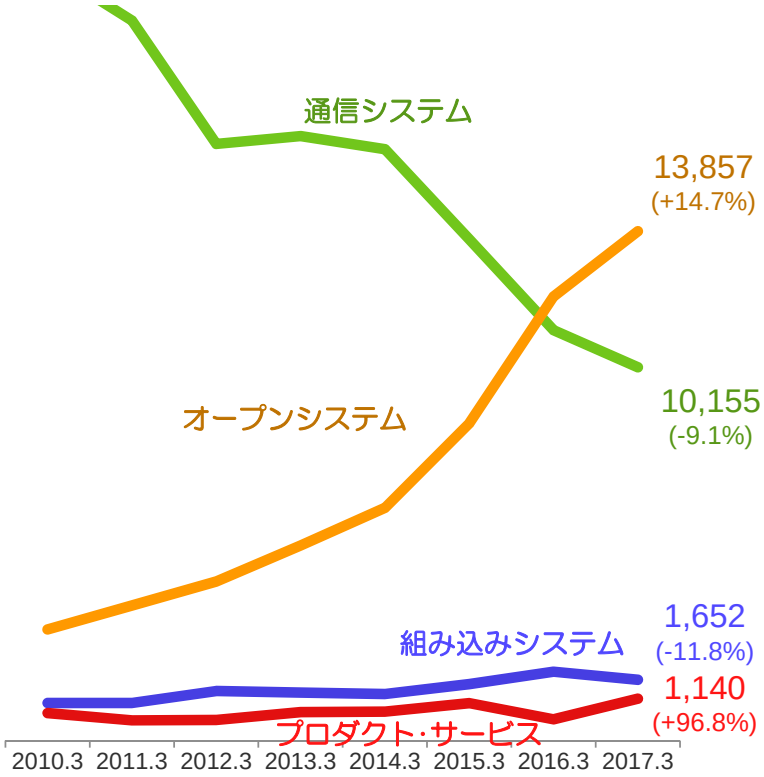
通信システム内売上比率の推移



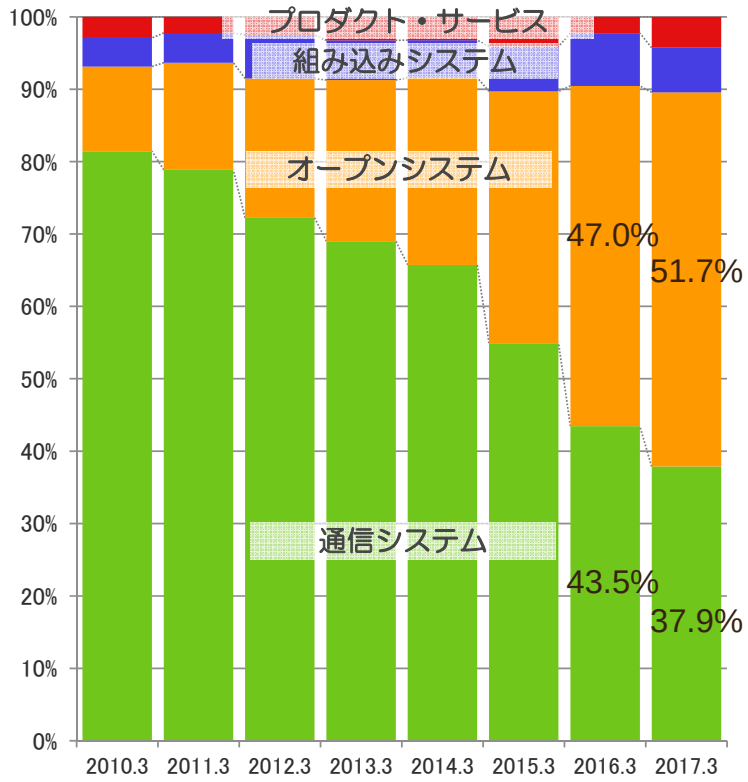
COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

事業区分別の状況（売上高の推移）

事業区分別売上高（百万円）



売上比率の推移



COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

2018年3月期の概要

2017年3月期は

過去最大の売上高

2018年3月期は

好環境の継続

2018年3月期 社内的には

創立45周年

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

経営戦略と課題

事業方針

持続的な成長に向けた事業基盤の強化とさらなる優位性の獲得

経営戦略

ソフトウェア開発事業の基盤拡大

新たな収益源となるビジネスの創出

経営課題

オープンシステム事業の**優位性確保**

人的パワーの拡充

生産性の向上

リスクマネジメントの定着

プロダクト・サービスビジネスの拡大

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

ソフトウェア開発事業の課題と当社の対応

あらゆる製品・サービスがソフトウェアの存在なしでは成り立たなくなりつつあり、技術の進歩と共にソフトウェアの存在感はさらに高まっている

これまで

課題	当社の対応
通常のソフトウェア開発（特に高信頼・大規模プロジェクト）	**高いプロフェッショナル性、組織力、PM力、動員力（ローマの重装歩兵軍団）**
炎上プロジェクト支援	**高いプロフェッショナル性、PM力、経験、高い基礎力と忍耐力（時々お助けマン）**
欲しいものが手に入らない ユーザの関与大 より上流からの参画	**視野の広い専門知識のある人材 当社CS行動理念の徹底 「わたしたちは、先ず聞き、次によく聴き、そして聞いてもらって行動します」**
人材不足 （技術変化の激しさ、育成に時間がかかる、業界不人気／新3K）	**プロパー中心の優秀な人材 働き方改革**
様々な契約形態 （定額請負、人材派遣、工程別発注）	**柔軟な対応 リスクを回避しつつ請負化へ**
開発体制（多重下請構造）	**案件ごとに採算性を考慮して対応**
コストダウン	**生産性向上**

技術革新がもたらす新たな潮流

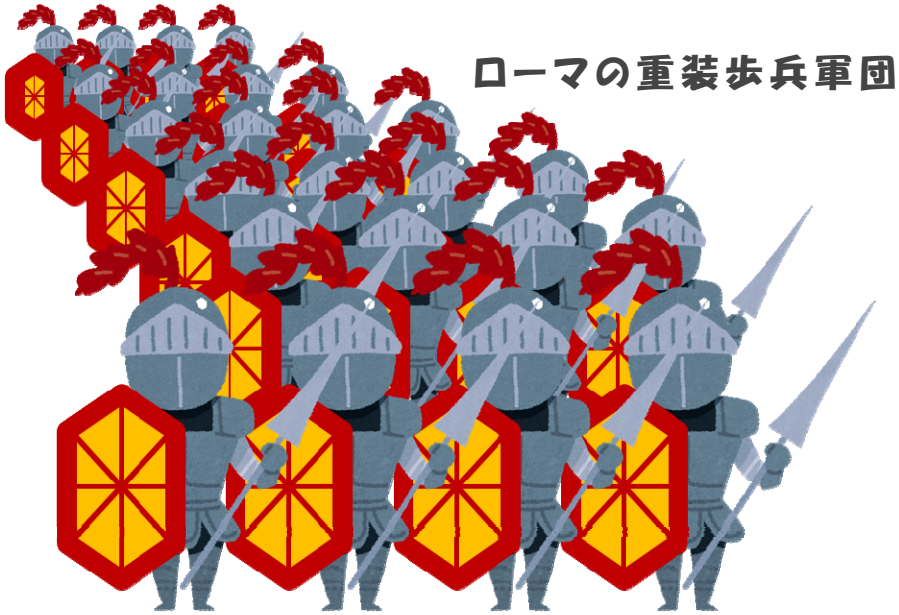
- インターネット、スマホ、IoT、AI等が、相乗的に機能し、世界を変える。
- これまでにない全く新しい事業分野が創出され、既存の産業へも破壊的インパクトが生じる。
- あらゆる業種の企業が、消費者の期待をどう取り込むかという課題に取り組んでいる。（UXデザイン、DevOps、APIエコノミー、協奏、共創）

課題	当社の対応
超高速・アジャイル的開発	**優秀で前向きな個人（協働できる、攻めのIT投資に貢献できる）**
超高速開発ニーズに応える 新たな請負体制（開発体制）	**顧客と共に検討**

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

通常のソフトウェア開発（特に高信頼・大規模プロジェクト）

- 洗練された開発手法
  開発方法論、プロジェクトマネジメント法
- 強い組織
  豊富な経験と高いスキルを持った個人と最後まで完遂する文化を持ったチーム
- 動員力
  プロパーエンジニア2,200名



多少の山谷・妨害は、蹴散らして目標を達成

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

炎上プロジェクト

発生の直接的な原因

ゴール（作り上げるもの）に対してリソース（人[質]・人[量]・金・時間）が不足していること

＋

真の原因

難しい力学が複雑に絡み合っていること

↓

炎上プロジェクトは今後もある程度の頻度で発生

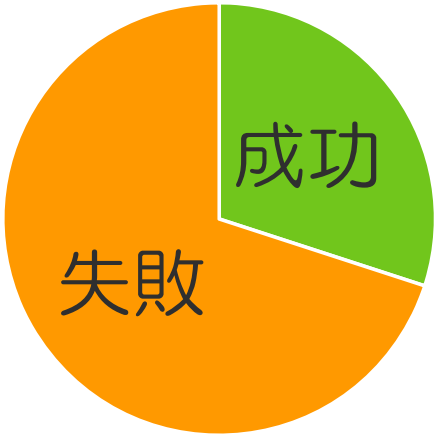
「時々お助けマン」は当社の得意技として顧客に認知
その評判は、新規顧客に食い込む時の強力な武器に

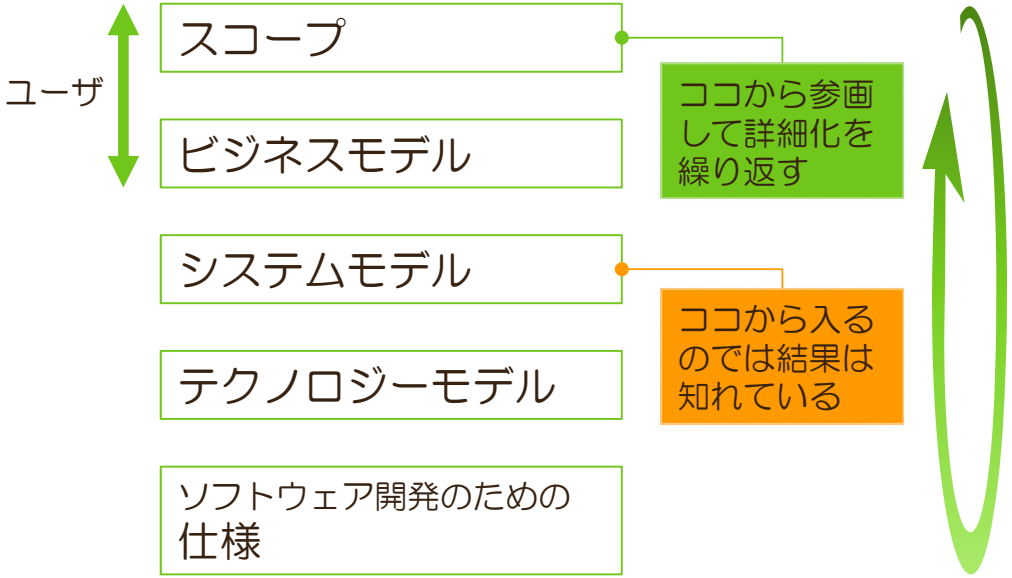
COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

欲しいものが手に入らない

一般的に、システム開発の7割は「失敗」
（ユーザの期待するものではない）

「ユーザの参画」と「より上流から協働」
で成功に導く





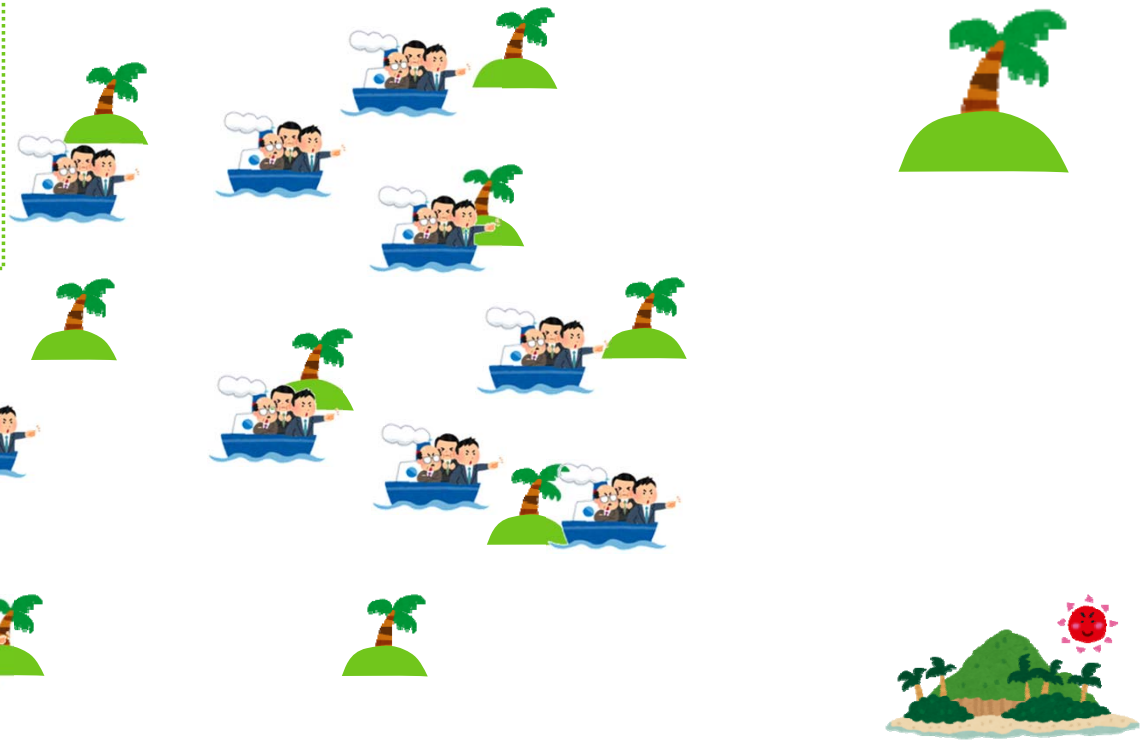
視野が広く、ユーザ業務に関する専門知識を持った
ソフトウェアのプロフェッショナルを育成

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

超高速・アジャイル的開発

小さな船が色々な港に辿り着いているが、その全体が1つの解（目的）
時間の経過と共に、次々と新しい解が出てくる

超高速・アジャイル的開発



従来型開発

初めに決めた、遠くにある港が目的地

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

ソフトウェア開発投資の状況

あらゆる製品・サービスがソフトウェアの存在なしでは成り立たなくなりつつあり、技術の進歩と共にソフトウェアの存在感はさらに高まっている

これまで

課題	
通常のソフトウェア開発（特に高信頼・大規模プロジェクト）	
炎上プロジェクト支援	高い基礎力・実績
欲しい ユーザ より上	
人材不 （技術 かる、	
様々な （定額請	
開発体制（多重下請構造）	案件ごとに採算性を考慮して対応
コストダウン	生産性向上

技術革新がもたら

- インターネ 機能し、世
- これまでにな 既存の産業へも破壊的 じる。

込

超高速開発ニーズに応える 新たな請負体制（開発体制）	顧客と共に検討

レガシーこそ
IT投資の本丸

企業／公共の基幹システムの開発・運用といった従来型のIT投資が高水準を継続

拡大中の巨大市場では
投資も大胆

消費者向けEコマースやスマートペイメント市場の拡大で、インターネットビジネスシステムの開発需要が旺盛

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

国内ICT市場の動向（ソフトウェア開発事業の環境）

国内ICT市場の動向（出典：NRI「ITナビゲーター2017年版」）

種別	市場・分野	2016	2022	年平均成長率
ネットワーク	固定ブロードバンド	1兆8,548億円	1兆9,300億円	0.7%
	携帯電話回線	1億5,998万件	1億7,789万件	1.8%
決済	消費者向けEコマース	16.5兆円	26.0兆円	7.9%
	スマートペイメント	62.6兆円	90.7兆円	6.4%
ウェブサービス	インターネット広告	1兆0,116億円	1兆2,725億円	3.9%
	動画配信	1,696億円	2,188億円	4.3%
ソリューション	クラウドサービス	6,398億円	9,932億円	7.6%
	データセンター	1兆1,193億円	1兆5,684億円	5.8%
	法人向けセキュリティ	6,406億円	9,145億円	6.1%
	IoT	7,100億円	3兆2,000億円	28.5%
	エネルギー	3,124億円	7,360億円	15.4%
	セキュリティ	1,562億円	7,040億円	28.5%
	自動車	710億円	6,400億円	44.3%

政府主導による産業活性化

- マイナンバー対応をはじめとする官公庁システムの高度化
- 電力・ガスシステムの改革
- セキュリティ・サイバー攻撃対策
- 金融・郵政システムの大規模更改

当社のターゲット

通信

- ネットワークの高度化・運用効率化
- PSTNマイグレーション
- 5G

公共（通信以外の社会インフラ、官公庁）

- 行政改革
- マイナンバー整備
- セキュリティ強化
- エネルギーシステム改革

流通・サービス

- 消費者向けEコマース

金融

- カード決済／スマートペイメント

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

オープンシステム

2018年3月期の見通し

（百万円）	2018.3	増減率
オープンシステム	14,600	5.4%
公共	4,700	▲13.9%
流通・サービス	5,800	30.3%
金融	2,000	▲0.9%
その他	2,100	9.0%

公共は、エネルギー関連が収束
流通・サービスは、ネットビジネス関連が増加
金融は、決済関連中心に前期並みの予測

優位性の確保に向けて

① 消費者向けＥコマース関連の拡大

ネットビジネスへの貢献の１つは、アプリケーションのデリバリサイクル高速化への対応

“速く創って、改善し続ける”の開発スタイルに適応しつつ、品質重視の開発との融合により、貢献・差別化

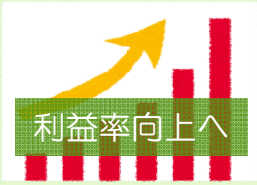
② 公共・金融分野の拡大

市場が大きい分、未開拓分野が多く、参入余地が大きい、長期大型案件が多い

より上流工程から参画する等、“協働”でプロジェクトを成功させ、コアパートナーに

③ 請負業務、プライム案件比率の増加

大手SIerの受注案件ではなく、顧客の製品、顧客のビジネスシステム開発案件の受注を増やしていく



生産性向上に取り組みやすく、強みを発揮しやすい業務環境づくり

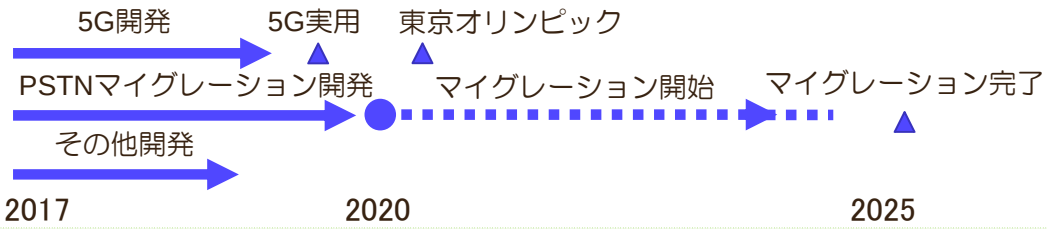
COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

通信システム・組み込みシステム

2018年3月期の見通し

（百万円）		2018.3	増減率
通信システム		10,100	▲0.5%
	ノード	2,000	▲4.3%
	モバイルネットワーク	2,800	▲16.4%
	ネットワークマネジメント	5,300	12.4%
組み込みシステム		1,500	▲9.3%

[前期途中から話の出ていた案件]



通信システムは前期並み

- モバイルネットワークで、特定ネットワーク対応の大型案件が終了
- ネットワークマネジメントは、前期途中から話の出ていた案件の具体化と２０１７年３月期に大幅減少した反動増に期待

組み込みシステムは減少

- スマートメーター関連とオフィス機器関連が減少

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

プロダクト・サービスビジネスの拡大方針

営業利益率向上の中心課題と位置付けて推進

V-Boot ビジネスの推進

- 現V-Bootビジネスを育て、安定した収益を実現
- 現V-Boot製品を核とし、周辺（端末管理、セキュリティ管理）へ展開

5年後に売上高 倍増を狙う

新商品の企画・開発

- より顧客に近いところ（ソフトウェア開発事業を担当する部門）で技術・市場の動向を把握し、新ビジネス創出につなげる活動を推進

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

プロダクト・サービスビジネス

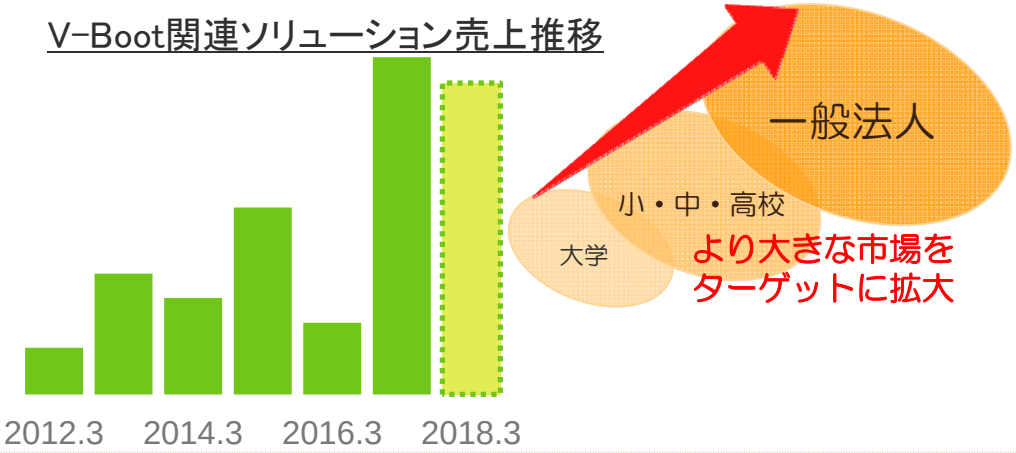
2018年3月期の見通し

（百万円）	2018.3	増減率
プロダクト・サービス （“その他”事業）	1,000	▲12.3%

2018年3月期も引き続き文教ソリューションに注力

2017年3月期に文教ソリューションの大型案件獲得が続いた影響から、売上高の減少を予想。ただし、ライセンス販売の比重を上げることで、利益確保

V-Boot関連ソリューション売上推移



現V-Bootビジネスの課題と対策

受注が不安定
（入札市場は価格競争、規模もマチマチ、売上が定まらない）

解決の方向
- ■ より大きな市場へ展開
- ■ 商品力がより評価される市場へ展開
  - ➢ 教育委員会（小中高校）、一般法人

対策
- **■ 大手プライムベンダーの開拓、協業推進**

繁忙期に集中（繁忙期にシステム構築要員が不足）

解決の方向
- ■ 協業体制の整備（仲間を増やす）
- ■ ライセンス販売重視へシフト

対策
- **■ 構築パートナーの開拓**
- **■ 外部委託を前提とした保守機能の充実**
- **■ ドキュメントの充実**

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

開発リソースの確保は、業績目標達成のカギ

質の向上

人材育成

階層別研修の充実、技術ワーキンググループ活動の活性化を推進、顧客と“協働”する技術者育成へ

階層別研修一覧

対象	研修
新入社員	配属前、新入社員OJT
一般	2年目、3年目、7年目、11年目、40歳以上社員
管理職	係長、課長、部長、昇格者

ワーキンググループ活動の概要

- 新技術への対応
- 効率化ツールの開発
- 生産性向上の仕組み検討

量の拡大①

ビジネスパートナーの確保、関係強化

「プロパー主義」の方針を堅持しつつ、新規パートナーの開拓とパートナー管理の強化を推進

「プロパー主義」を維持するための委託方針

- 技術の空洞化を生じさせない
- 当社によるプロジェクト管理が可能な体制を構築（仕事の“丸投げ”をしない）
- 情報セキュリティリスクへの備えを怠らない（プロパー主義の利点の１つ）

外注費の推移

決算期	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3
外注費（百万円）	1,561（+199）	1,830（+269）	2,124（+294）	2,611（+487）	2,751（+140）

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

新卒採用の強化

量の拡大②

受験者数の増加、歩留まりの向上
「欲しい人材に会える機会を増やし、
振り向かせるための施策の強化」

社員数と新卒採用数の推移

	2013年4月	2014年4月	2015年4月	2016年4月	2017年4月
社員数	2,527（+4）	2,541（+14）	2,592（+51）	2,617（+25）	2,654（+37）
新卒採用数	88	82	129	113	119

2018年4月採用計画　150名

コミュニケーション機会の拡大

- 学内合同企業説明会への参加増
- 就職ナビサイトの露出強化

アピール方法の充実

- コーポレートサイトリニューアル、採用専用サイトの強化
- ユーティリティの充実

コミュニケーション内容の充実

- グループ面接、選考結果フィードバック内容の充実
- プログラミング体験セミナー、インターンシップの開催
- 合格者父母への会社情報提供
- 提供情報の充実（仕事の内容、職場の雰囲気、先輩社員の声、女性の育児休業取得率100%、三年目退職率4.5% etc.）

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

2017年1月、コーポレートサイトをリニューアル

https://www.alpha.co.jp/

デザイン刷新で情報も更に充実、採用強化を狙いモバイル対応

リニューアルの一部をご紹介

採用強化に向け 学生向けの情報を満載

学生向けに、爽やかな印象のデザインとし、スマートフォンで見て分かりやすい構成に変更。さらに、どのような会社かを数字で見るコンテンツや、先輩達の声を多くの掲載し、自分が働くイメージや社風が伝わるような工夫を凝らす

自社製品は ユーザー視点で再構成

より多くのお客様に自社製品の魅力を知っていただくため、製品サイトも見直しを実施。
テレビ番組を見られるスマホアプリ「Media Link Player for DTV」のサイトは、初めての方でも利用法がわかるよう、ユーザー目線で情報やデザインを再構成

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

2018年3月期 見通し

業績見通し

（百万円）	2016.3	2017.3	2018.3	増減額（増減率）
売上高	25,698	26,806	27,200	394（1.5%）
ソフトウェア開発	25,119	25,666	26,200	534（2.1%）
プロダクト・サービス（“その他”事業）	579	1,140	1,000	▲140（▲12.3%）
営業利益	2,399	2,560	2,600	40（1.6%）

ソフトウェア開発関連事業の見通し（内訳）

（百万円）	2017.3	2018.3	増減額	増減率	構成比率
通信システム	10,155	10,100	▲55	▲0.5%	37.1%
ノード	2,090	2,000	▲90	▲4.3%	7.4%
モバイルネットワーク	3,351	2,800	▲551	▲16.4%	10.3%
ネットワークマネジメント	4,713	5,300	587	12.4%	19.5%
オープンシステム	13,857	14,600	743	5.4%	53.7%
公共	5,461	4,700	▲761	▲13.9%	17.3%
流通・サービス	4,451	5,800	1,349	30.3%	21.3%
金融	2,017	2,000	▲17	▲0.9%	7.4%
その他	1,927	2,100	173	9.0%	7.7%
組み込みシステム	1,652	1,500	▲152	▲9.3%	5.5%

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

オープンシステム
事業の優位性確保

人的パワーの
拡充

マーケット・顧客動向を見据えた戦略により
持続的な成長と安定した収益基盤を構築

リスク
マネジメントの
定着

生産性の
向上

プロダクト・
サービスの
拡大

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.

株式会社アルファシステムズ

https://www.alpha.co.jp/

＜本資料の取扱上のご注意＞

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合がありますので、あらかじめ、ご了承願います。

＜本資料に関する問い合わせ＞

〒211-0053　川崎市中原区上小田中6丁目6番1号　本社（中原テクノセンター1号館）
株式会社アルファシステムズ　経営企画本部　広報室
TEL(044)733-4111(代)　E-mail: ir@alpha.co.jp

COPYRIGHT© 2017 ALPHA SYSTEMS INC.